

# せったん

第203号 2026年4月15日

● 発 兵庫県保険医協会北摂・丹波支部  
〒650-0024 神戸市中央区海岸通1-2-31  
● 行 神戸フコク生命海岸通ビル5階  
TEL078-393-1801 FAX 078-393-1802

北摂・丹波支部ニュース



## 医療機関の実態に見合わない改定内容

# 基本診療料の大幅な引き上げを

北摂・丹波支部は、4月4日に三田市・キッピーモー  
ルで医科診療改定研究会を開催し、98人が参加した。廣  
瀬智支部幹事が講師を務めた。

研究会の冒頭、司会の武  
中睦美副支部長が今次改定  
を取り巻く情勢について、  
長年の低診療報酬政策に加  
え、昨今の人件費・物価高

騰により医療機関の経営  
は窮迫状態にあり、3  
0%プラス改定は極めて  
限定的で現場の実態に到  
見合わず、診療報酬の大  
幅な引き上げと不合理是  
正が必要と訴えた。

の医療機関で対応を要する点  
を解説した。  
参加者は、診療報酬の引き  
上げと不合理是正、高額療養  
費制度の上限額引き上げや薬  
剤の保険外し、高齢者の医療・  
介護負担拡大の中止を求める  
決議を拍手で採択した。「ス  
トップ患者負担増」請願署名  
への協力を呼びかけ、82筆が  
集まった。  
歯科の研究会は、4月16日  
に同会場で開催予定。



廣瀬智先生(右上)が講師を務め、会員・  
スタッフら98人・56医療機関が参加した



研究会では、生活習慣  
病管理料(Ⅱ)における  
併算定できる医学管理料  
の大幅拡大などの変更  
点、機能強化型在宅支援  
診療所(連携型)の施設  
基準の厳格化や在宅時医  
学総合管理料における  
「月2回以上」の算定の  
制限など在宅医療の注意  
点、新設される「電子的  
診療情報提供体制整備加  
算」の施設基準や算定の  
注意点、ベースアップ評  
価料の変更点など、多く

### 2026年度診療報酬改定特集ページ更新中!



※改定特集ページでは、行政関連資料や、今年度の診療報酬・介護報酬改定に関するよくある質問などを随時掲載。ホームページでは、その他にも生涯研修に役立つ各種研究会のご案内等、日々の協会活動報告を掲載しております。

## 市民公開企画 映画上映会&学習会

### PFAS 汚染

# 予防原則への転換を

支部は、PFAS(有機フッ素化合物の総称)による  
環境汚染が社会問題となり全国各地で報じられている  
ことを受け、3月1日、三田市・キッピーモールにて、  
映画『ウナイ 透明な闇 PFAS汚染に立ち向かう』  
上映会&学習会を開催。小寺修副支部長が司会を務め、  
会員・スタッフ・市民ら62人が参加した。学習会では、  
「PFAS運動の取り組みと私たちの健康」と題して兵  
庫民医連PFASプロジェクトチーム責任者の瀧本和雄  
先生(東神戸病院)が講演した。



講師の瀧本和雄先生

PFASは分解されに  
くい物質の特徴から「永  
遠の化学物質」と言わ  
れ、体内に取り込まれた  
PFOS(PFASの一  
種)が95%排出するまで  
に約40年かかるとされ



会員・市民ら62人が参加した

る。体内に長く留まる理由  
は、腎臓からの排出が悪く、  
肝臓から胆汁に排出された  
ものが腸管で再び再吸収さ  
れる腸肝循環があると解説  
した。健康への影響として、  
発がんや免疫機能の低下、  
胎児の発育不全、コレスト  
ロール値の上昇など数多く  
の病気との高い関連が指摘

(1面からのつづき)

されているが、どの程度の量が身体に入ると影響を及ぼすかについては十分な知見がないため、そのことを理由に日本のPFAS規制が進まない現状を指摘。科学的な因果関係が十分に解明されていなくても規制措置を可能にする「予防原則」への転換を訴えた。

また、兵庫民医連PFASプロジェクトチームが実施している血液検査から県内の汚染状況は大阪や東京の汚染レベルに匹敵する高い傾向にあること、汚染源が明確でないことが報告された。

対策としては、活性炭がPFOSやPFOAを8割除去できることを踏まえ汚染源を特定し周知すること、今年4月から水道水

司会を務める小寺修副支部長



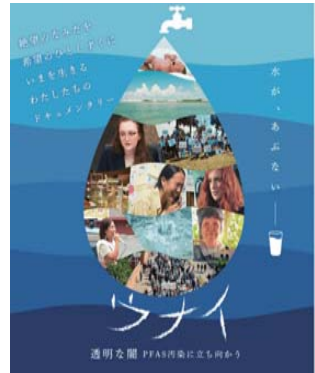
のPFOS・PFOAに関する水質基準が義務化され3か月に1回以上の検査を水道事業者に求められることから、その実効性を注視するとともに、緩すぎる水質基準の見直しや法的拘束力、汚染者負担原則などの課題を挙げ、継続的に政府に意見をしていくとし、運動への協力を訴えた。

参加者の感想から

PFOS…メッキ処理剤、消泡剤、PFOS…撥水剤、界面活性剤など

みや運動を知り、今後の規制の動きなどに関心を持つ必要性を感じました。世界の規制に対する取り組みに対して、日本の取り組みがかなり甘いということに再認識しました。

も病院経営が大変な中で頭が下がります。兵庫県内のPFAS汚染を細かく調べておられ、私たちも大丈夫かと心配です。



監督=平良いずみ  
プロデューサー=山里孫存 千葉聡史  
音楽=半野喜弘 撮影=大城学 赤嶺信悟  
編集=田邊志麻 山里孫存 構成=渡邊修一  
製作= GODOM 沖縄 製作協力・配給=太秦文化庁文化芸術振興費補助金(日本映画製作支援事業) 独立行政法人日本芸術文化振興会  
【2025年/日本/16:9/106分】  
©2025 GODOM 沖縄

感想文 実践的な内容で 大変参考になる

北摂・丹波支部は、12月20日に三田市・キッピーモーにて会員懇談会「日常診療で気をつけたい法的知識」よくある相談事例から(講師:神戸花くま法律事務所 野田倫子弁護士)を開催。会員ら9人が参加した。坂井秀至先生の感想文を紹介する。

2025年から三田市内で「三田さかいクリニック」という精神科・心療内科の診療所を営んでいる坂井秀至と申します。

でご報告申し上げます。今回は兵庫県保険医協会顧問 弁護士である野田倫子先生をJR三田駅近くの施設の会議室にお招きし「日常診療で気をつけたい法的知識」という演題でご講演を賜りました。

1) 応召義務とクレーム対応、2) ネット上の誹謗中傷への対応、3) 未払い治療費等の回収、4) 医療機関におけるハラスメント



講師の野田倫子先生

対策義務といった項目で、それぞれ問題となった実例や根拠となる条文、具体的にどういう備えをして経営にあたるべきかなど、非常に実践的な内容で大変参考になるものでした。

個人的には、「診療時間の看板を掲げ営業している医師は患者の求めに応じた診察する義務があるということ」を改めて確認したことが印象に残りました。



実際の相談事例から、診療に必要な法的知識を学んだ

【三田市・坂井秀至】